



平成29年 5 月12日

各 位

会社名 株式会社 リボミック
代表者名 代表取締役社長 中村義一
(コード番号：4591 東証マザーズ)
問合せ先 取締役執行役員管理本部長 宮崎正是
TEL. 03-3440-3303

**抗 FGF2 アプタマーを用いた加齢黄斑変性症の治験に向けて
UCSF メディカルセンター眼科医の Robert B. Bhisitkul 教授と契約を締結**

この度、当社の自社創薬製品の一つである RBM-007 (*注) の加齢黄斑変性症 (AMD) 治療薬としての臨床試験の実施に向けて、カリフォルニア大学サンフランシスコ校 (UCSF) メディカルセンター眼科の医師であるロバート・ビスクル教授 (Robert Bhisitkul, MD, PhD) と、メディカルエキスパートの委嘱に関する契約 (Medical Expert Agreement) を締結することとなり、取締役会において本日これを決議いたしましたので、お知らせします。

ビスクル氏は、網膜および硝子体の疾患を専門領域とし、高い評価を受けている眼科臨床医です。本契約に基づきビスクル氏には、その専門的知見を活かし、RBM-007 の米国での臨床試験に関して、メディカルエキスパートの立場から、臨床試験計画の策定、試験実施に際しての各種調整、試験結果の評価等の業務を実施いただきます。

当社は AMD の患者を対象とする RBM-007 の米国での臨床試験について、平成 30 年 3 月期中に、米国食品医薬品局 (米国 FDA) への治験計画届出を行う計画としております。

RBM-007 は、既存の AMD の治療薬である抗 VEGF 薬が対象とする血管新生の抑制のみならず、抗 VEGF 薬では抑制することができない、瘢痕形成 (網膜の線維化) の抑制という、二重の作用を有することが確認されています。このような二つの異なる作用をあわせ持つことで、RBM-007 は革新的な AMD の治療薬となることが期待されます。

なお、本契約締結による、平成 30 年 3 月期の通期業績への影響は軽微であります。

* 注：RBM-007 は線維芽細胞増殖因子 2 (FGF2) に対する核酸 (RNA) アプタマーです。製品コード RBM007 として開発を推進してまいりましたが、この度「RBM-007」という正式な化合物番号を付与いたしました。

【株式会社リボミック 代表取締役 中村義一のコメント】

「UCSF を訪問し、網膜疾患の専門医である Bhisitkul 教授に本アプタマー (RBM-007) の薬理データをご覧いただいたところ、RBM-007 は既存の AMD 治療薬で問題となっている長期投与における効果不十分 (瘢痕化による) を解決しうるとして、その可能性を高く評価頂きました。そのような経緯で今回、Bhisitkul 教授とメディカルエキスパート委託に

関する契約を締結できたことを大変喜ばしく思っております。Bhisitkul 教授の参加により、来年、米国で計画している加齢黄斑変性症に関する臨床試験の準備が加速するものと期待しております。比較的少人数の患者での Phase I/IIa 試験となるため、開始から約 1 年程度で薬効の有無が明らかになるものと考えております。臨床 POC が取得でき次第、本アプタマー (RBM-007) の速やかな導出に向けて努力する予定です。」

【ロバート・ビスクル博士 (Robert Bhisitkul, MD, PhD) 経歴】



ビスクル博士は、カリフォルニア大学サンフランシスコ校 (UCSF) メディカルセンター眼科の教授であり、網膜外科医、臨床科学者としてとして 20 年以上のキャリアを持つ。

博士は、網膜疾患の新規治療を対象とした 15 件のランダム化臨床試験に関与し、また加齢黄斑変性治療における VEGF 阻害薬の 7 年間のフォローアップ試験の臨床試験ディレクターを務めた経験を持つ。また、生体工学分野の研究者とのコラボレーションで、新規な眼用薬デリバリー技術を開発し、本技術の臨床開発を目指すベンチャー企業の共同設立にも関与している。

ビスクル博士は、開発初期段階にある医薬品の評価、臨床試験デザイン、FDA 折衝、臨床教育、マーケティング等の分野で、多くの製薬企業に協力してきた。

博士はスタンフォード大学を卒業後、スタンフォード大学医学部およびエール大学の神経科学で博士号を取得し、ハーバード大学医学校およびマサチューセッツ眼科耳鼻科病院で、医学研修および専門医研修を行った。発表論文数は非常に多く、そのうち最近の二報は *Ophthalmology* 誌が選ぶ「年間トップ 25 論文」に選出されている。また *American Journal of Ophthalmology Case Reports* および *British Journal of Ophthalmology* の編集委員、さらにアメリカ眼科学会の審査官、クウェート眼科学会の評価委員を務めている。

株式会社リボミックについて

株式会社リボミックは、次世代新薬として注目されている核酸医薬の一種「アプタマー医薬」の開発を目的とする、創薬プラットフォーム系バイオベンチャーです。当社の創薬基盤技術である「RiboART システム」は、様々なアプタマー医薬の開発に応用することが可能です。株式会社リボミックは疼痛・眼疾患・線維症を始めとして、広い領域の Unmet Medical Needs (未だに満足すべき治療法のない疾患領域の医療ニーズ) に対する新薬の提供を目指してまいります。